



5月号 令和5年4月28日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」

校門の桜の木も、緑豊かな葉桜となりました。新年度が始まり1か月がたとうとしています。子どもたちの緊張もほぐれてきて、笑顔で活動している様子が見られます。5月8日より新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類になるとのこと。それに伴う学校教育活動の変更については、改めてお知らせしていきますが、今までよりは実施可能な活動が増えると思います。単純に元に戻すという考えではなく、その活動の意義や教育的な効果を考えながら、整理し実施方法を検討していきたいと思っています。コロナ禍に工夫しながら実施したことの中にも、有効なものがあると感じます。引きつづき、様々な感染症における基本的な感染予防を講じながら、教職員一同丸となり教育活動に取り組んでいきたいと思っています。今後、全校遠足を皮切りに、運動会、水泳指導と行事等が目白押しです。子どもたちが笑顔で取り組んでいけるように整えていきたいと思っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

今年度も引き続き、上記の学校教育目標に向けて全教職員が共通理解をもち学校教育活動を行ってまいります。重点目標『「ひと、もの、こと」との豊富な関わりの中で考える力を伸ばす』ことを目指し、「自分ごととして考える子」「ねばり強くやり抜く子」「自分も人も大切にできる子」を育てることができるよう、努力してまいります。



頼りになる6年生です！

鶴が台小学校では、茅ヶ崎市内で一番児童数が少ない小規模校の利点を生かし、学年の枠にとらわれず、縦のつながりを大切に活動を行っています。さっそく、6年生が1年生の活動にかかわり、6年生の背中を見ながら1年生が学び始めています。6年生は、1年生の教室へ行って、お掃除だけでなく様々なお手伝いをします。学校生活に慣れるように一緒に休み時間を過ごし、遊んでいる姿も見られます。21日から始まった給食では、牛乳パックを開く作業も6年生が上手に教えながら行うことで、スムーズにできるようになってきました。バディとの信頼関係もできてきて、1年生にとって6年生は、とても頼りになる存在です。鶴が台小学校の長男・長女として、活躍しています。

1年生を迎える会 ～全校遠足～ 5/2(金)



テーマ「出会い 手は触れなくても、心はつながる」

今年度も、1～6年の児童が12の異学年グループを作り、たてわり活動を行います。そのグループによる初めての活動である全校遠足。5月2日(金)に、全校児童で中央公園に歩いていく予定です。一緒に行動する縦割りのグループを決めました。当日、バディも決めます。きっとこの一年間、様々な場面で心を通わせ素敵な時間をたくさん紡いでくれることと思います。どうぞ温かく見守っていただきますよう、よろしくお祈りいたします。おいしいお弁当のご用意をお願いします。